



2020年3月8日(日)

5段階のチャートで分かる
MORIMOTO METHOD

福岡開催

インプラント周囲炎の診断と治療法



講師 森本 哲司 先生

- ・大阪歯科大卒
- ・元大阪歯科大学保存学教室臨床研修員・専攻生
- ・元大阪歯科大学歯科麻酔学教室臨床研修員
- ・日本口腔インプラント学会専門医
- ・日本保存歯科学会会員
- ・日本歯科麻酔学会会員
- ・大阪歯科学会会員



汚染したインプラントの表面

インプラント治療が導入されて40年以上の年月が経過し、それに伴ってインプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎の問題が大きく取り上げられるようになり、今後ますますその治療法について研究がされることでしょう。

インプラント周囲炎の罹患率は高く、また一度粘膜炎を患うとインプラント周囲炎になりやすいということからも初期のメンテナンスは非常に重要です。

私がインプラント治療に長年携わってきた結果、インプラントと骨だけの治療ではこれらの問題を解決することには限界があると感じています。そこで新たに考慮すべきこととして、インプラント周囲軟組織のバクテリアの除去も同時に行わなければならないと考えています。また、インプラント周囲の粘膜の環境改善の必要もあります。

今回のセミナーでは罹患した硬軟組織に対し、どのような方法を用いると効果的な結果が得られるのかについて述べ、不良肉芽除去のための新しく開発された器具の使用法や、進行したインプラント周囲炎に対する最新の治療法についてもご紹介いたします。

日時

2020年3月8日(日) 13:00~16:00

参加費

歯科医師 5,000円
歯科衛生士 3,000円

会場

大博多ビル11F 福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1
1103号室 TEL:092-292-5754



インプラント周囲炎の治療に不可欠な不良肉芽の効率的な除去



大信貿易株式会社
DAISHIN TRADING CO., LTD.

本社 / 〒592-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町3-231-3

<http://www.daishintrading.co.jp>

大信受注センター

tel.0120-382-118 fax.0120-089-118

お申込日: 年 月 日

セミナー名: インプラント周囲炎の診断と治療法		セミナー開催日: 2020年3月8日(日) 13:00~16:00	
施設名	ご氏名	DR	DH
	ローマ字名	DR	DH
ご住所 〒			
TEL		FAX	
E-mail		@	

※上記の申込書にご記入の上、大信貿易株式会社までFAXでお申込み下さい。ウェブサイトからもお申込みいただけます。※開催日から1ヶ月前を過ぎてからのキャンセル、ご返金は受け付けておりませんのでご了承くださいませ。※お振込み先は追ってご連絡させていただきます。また、ご入金をもって正式なお申込みとさせていただきます。※振込受領票を領収書に代えさせていただきます。※開催日の約一週間前に受講票と会場の地図をお送りいたします。

5段階のチャートで分かるMORIMOTO METHOD

インプラント周囲炎の診断と治療法 講義内容

インプラント周囲病変はインプラント周囲粘膜炎の段階とインプラント周囲炎の段階があり、それぞれに応じた治療法が必要です。

汚染物質の除去は必ず行なわなければならないことですが、インスツルメントの選択が重要となります。インプラントは天然歯と違って表面が粗造であること、またギャップが存在することから、よりインプラント周囲病変を起こしやすいと考えられます。

また、汚染物質（バイオフィルム）の除去のみならず、バクテリアが多く存在しているインプラント周囲の不良肉芽の除去も必ず行なわなければならない。

インプラント周囲の病変は骨のみならず、軟組織の状態や上部構造の形態等様々な要因によって病変は進行しますが、軟組織の処置方法によって病変を大きく改善できると考えています。

近年ではインプラント周囲病変への対処のための新しい薬剤など有効な方法が開発されており、また、可動粘膜の改善をおこなうために、私は高周波による治療も取り入れています。本セミナーでは、これらの有効な治療法についても発表させていただきます。

スターチップを使用したインプラントメンテナンス手順 - MORIMOTO METHOD

1) 通常メンテナンス

「PEEKチップ」を用い、補綴物やインプラントの鏡面研磨部分をクリーニング。発赤、腫張、出血、排膿、ブローイングデプス、BOP、他部位、全身状態の確認を行い、異常が認められる場合はCTまたはX線撮影を行う。



術前

2) 出血、排膿等の異常が認められるものの骨欠損はない状態

インプラント周囲粘膜炎

CT、X線撮影の結果、骨欠損が認められなかった場合は、「PEEKチップ」や「チタンチップ」を用いた超音波スケーラーで機械的搔把を行う。炎症の程度によっては『NIKUGETトレール』を使用する場合もある。



チタンスケーラーチップを使用してスレッド部に対して正確にアプローチ。

3) 骨欠損が認められる状態

インプラント周囲炎

3-1A) フラップレスのまま、『NIKUGETトレール』を用いて手技でインプラント周囲の不良肉芽を除去した後、「PEEKチップ」、「チタンチップ」を用いた超音波スケーラーで機械的搔把を行う。

3-1B) 再オッセオインテグレーションを期待する場合は、フラップを開け、3-1A、3-2と同様の処置後にGBRを行う。



不良肉芽除去のために開発された『NIKUGETトレール』

3-2) 3-1Aの処置後も改善が見られない場合は、フラップを開け「PEEKチップ」や「チタンチップ」を用いた超音波スケーラーで機械的搔把を行う（右画像は別症例）。また、必要であれば抗生物質療法や殺菌療法を行う。



PEEKチップでのインプラント鏡面研磨部の清掃

3-3) 3-2の処置後も改善が見られない場合は、可動粘膜が治癒を阻害していることが考えられる。その場合は、ラジオ波外科機器等で不動化させる（口腔前庭拡張術）。



術後

日時

2020年3月8日(日)
13:00～16:00

参加費

歯科医師 5,000円
歯科衛生士 3,000円

会場

大博多ビル11F 福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1
1103号室 TEL:092-292-5754



大信貿易株式会社
DAISHIN TRADING CO.,LTD.

本社／〒592-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町3-231-3

<http://www.daishintrading.co.jp>

大信受注センター

tel.0120-382-118 fax.0120-089-118